

3 市場第二 地区

1. 地区概況

川崎市に隣接した平坦な土地であるため、徒歩や自転車等での移動がしやすく、川崎駅周辺も生活圏となっています。最寄り駅は八丁畷駅、鶴見市場駅、尻手駅です。地区内を通過している鉄道が多く、踏切が閉鎖していることが多いです。

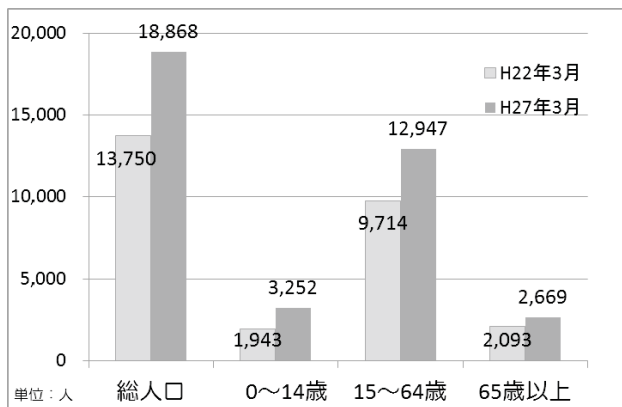
近年、中小工場の跡地などに大型マンションが建ち、子育て世代の転入者が増えています。

地区内に旧東海道が通っており、史跡が点在しています。



2. 市場第二地区の人口（年齢区分別）

	H22年3月 (年齢区分別比率)	H27年3月 (年齢区分別比率)	【参考】H27年3月 (鶴見区全体の年齢区分別比率)
総人口	13,750人 (100.0%)	18,868人 (100.0%)	(100.0%)
0～14歳	1,943人 (14.1%)	3,252人 (17.2%)	(13.3%)
15～64歳	9,714人 (70.7%)	12,947人 (68.6%)	(67.0%)
65歳以上	2,093人 (15.2%)	2,669人 (14.2%)	(19.7%)



- 5年前に比べると、総人口が約5,100人も増えています。
- 0～14歳、15～64歳人口増加が著明で、5年前よりも高齢化が鈍化しています。

※地区別人口については、集計上の誤差があり、実態と一致しない場合があります。 出典「横浜市統計ポータルサイト」

3. 第2期計画

すべては地域を知ることからはじまる



支えあいのまちづくり

4. 第2期計画の主な取組内容（22年度～27年度）

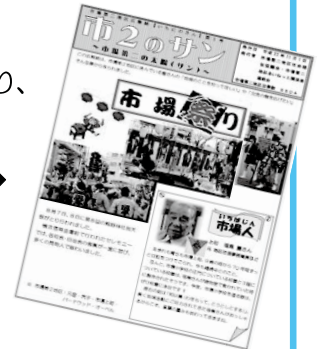
22年度

★市場第二地区広報紙『市2のサン』創刊！



市場第二地区フォーラムの中で、より多くの方に地域の事を知ってもらうため広報紙があれば良いというご意見があり、平成22年6月より市2のサン編集委員会を立ち上げることになった。

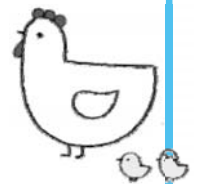
市2のサン 創刊号→



23年度

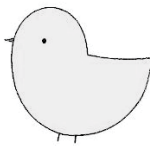
★「地域の宝物は何ですか？」 フォーラムで地域情報共有！

横浜市まちづくりコーディネーターの山路清貴先生による講演を地区フォーラムで実施。『ガリバーマップ』を活用し、多くの方に地区情報を発表していただいた。休憩場所、綺麗な景色の場所などたくさんの意見が出た。ほとんどの方が「人とのつながり」を挙げていたことが印象的だった。



24年度

★マップヒアリング実施！課題確認のきっかけに！



地図を囲んで、意見を聞いてみよう！様々な世代の声を聞くことができる『マップヒアリング』の活動を開始。あいねっと関係者連絡会では、マップ企画部会を結成。地区別の活動に出向いたり、オール市場ゆうづる夏祭り等で、地域の情報や課題を検討した。情報発信には、連合や各活動団体の協力が不可欠であることを実感する機会となった。



25年度

★地域に情報を伝えよう！「MAPづくり」

いろいろな団体が
力を合わせて活動！



あいねっと関係者連絡会のメンバーでもある6団体（保健活動推進員、民生委員、KOMET、自然館、活動ホームもとみや、地区社協）が地図に掲載する情報を収集し、発表した。集まった情報は発信することが大切！とMAP作成を開始。公園、花壇、歴史スポット、危険な場所など実際に現地を歩いたり、文献を調査したりと、きめ細やかな取材を重ねながら創りあげた。7000部を発行。



↑あいねっとMAP

26年度

★子どもからお年寄りにやさしい「MAP」完成！



実際に現地を歩いて2年がかりで作成したマップが完成！マップを基に歴史講演会・歴史散策も実施。講演会では、鶴見歴史の会相談役の林さんが地域の歴史と旧跡に関する歴史講演会を行った。歴史散策では、マップを元に八丁畷駅から鶴見神社までの約4kmを歩きながら史跡をめぐり、交流を深めた。知らない地域のことを知ったり、あいねっとの活動への新しい声が聞けたりと、新しい風が吹いた活動だった。

5. 第3期計画策定に向けて

■市場第二地区あいねっと地区懇談会開催 平成27年7月10日（金）

（1）第2期計画をもとに取り組んできた主な事業を紹介



- ① 市2のサン：地域の広報活動
- ② ハッピー体操：地域の健康づくり活動
- ③ KOMET（コメット）：地域の子育て支援活動



（2）第3期計画の策定のための意見交換としてグループワークを実施

2グループに分かれて、それぞれ3つのテーマについて意見交換を行い、発表しました。

テーマ	主な意見
①現在の地区活動	<ul style="list-style-type: none"> ・各町で様々な健康に関する活動を行っている ・お祭りなどの地区行事が盛んであり、行事を通じて新たな担い手を発掘している ・広報紙によって地区の情報周知を行っている ・障害者施設では、行事や販売を通じて地域交流を行っている
②地域の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・地区活動の周知方法に困っている ・新たな担い手の発掘と育成に苦慮している
③将来への思い	<ul style="list-style-type: none"> ・世代や町会を超えた交流の場を拡大したい ・地区活動を通じて新たな担い手を発掘したい ・地区活動の情報周知を強化したい



事務局にてグループワークであがった意見を分類して取りまとめを行い、その後の関係者連絡会において第3期計画の目標・キャッチフレーズを決める土台としました。

■市場第二地区あいねっと関係者連絡会開催 平成27年9月8日（火）

（1）第3期計画の目標を決めるためのグループワークを実施

前回の地区懇談会の内容を踏まえて、意見の多かった「地域の交流」と「新たな担い手」をキーワードとした目標をそれぞれグループワークによって以下の2つに決めました。

- ・声掛けからはじまる一歩を踏み出します
- ・世代を超えたつながりから新たな担い手を育てます



（2）第3期計画のキャッチフレーズ案を作成するためのグループワークを実施

上記2つの目標をもとに、再度グループワークを行い、以下3つのキャッチフレーズ案を作成しました。

- ・好きです市場第二 みんなの笑顔が見られる町に
- ・笑顔でつながれ みんな大好きこの町が
- ・みんな大好き 笑顔でつながるこの町が



（3）関係者連絡会のメンバーによる投票でキャッチフレーズを決定！

6. 第3期計画策定（28年度～32年度）



好きです市場第二 みんなの笑顔が見られる町に

目標1

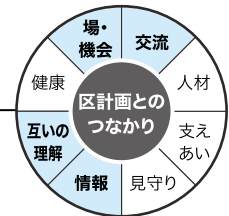
声かけから始まる一歩を踏み出します

■現状の良いところ・課題

- お祭りなどの地区行事を活発に行っています。
- 広報紙「市2のサン」で地域情報を周知しています。
- 障害者施設の行事や販売を通して、地域の方々との交流を行っています。
- 町内会館を活用した集いの場を継続して、各地区で行っています。

■5年間の具体的な取組

- ◎たくさんの方が地区の活動に参加できるよう、地区情報を広く届けていきます。
- ◎今ある地域活動とともに、世代や町会を超えた活動の場を増やしていきます。
- ◎急増する子育て世代の支援について話しあえる場づくりをします。



目標2

世代を超えたつながりから
新たな担い手を育てます

■現状の良いところ・課題

- お祭りや運動会を通し、若い世代の担い手がうまれました。
- 地区活動を行っている団体で「地域に根ざした活動」「顔のみえる関係づくり」を行っています。
- 健康に関する活動を各町で行っています。

■5年間の具体的な取組

- ◎若い世代の方にも積極的に地域活動に参加してもらい、新たな担い手となってもらえるようにします。
- ◎地区活動を行っている団体同士が情報交換を行い、相互に支援できる関係を築きます。
- ◎地域住民が困った時には声をあげ、その困りごとに協力してくれる方を増やします。

